

# 支援の手だてリスト(具体例)

		⑤ 何の絵でしょう (絵に描かれた)場の状況を理解する力	
		全体への支援	より個別的な支援(教材の工夫など)
1	目標・ねらい 学習の評価	1) ・活動内容を具体的に示す ・児童生徒を主語にして「～する」「～できる」という表現にする ・一つの目標には二つ以上の内容を入れない 2) ・板書や紙に書くなどして、児童生徒が見て分かるように提示する 3) ・まとめの時間に授業の振り返りを必ず行う	1) ・振り返りシートなどを活用し、目標やねらいについての自己評価をさせる ・言語化が難しい児童生徒の場合は、項目を示し、○×でチェックさせる 2) ・シールなどによるポイント制を利用する
2	授業の構成	4) ・学習の流れを文字や図などを用いて視覚的にとらえられるようにする ・今、どの活動をしているか分かるよう、マグネットや印で示す 5) ・導入、課題の提示、説明、自立解決、発表などの展開を教科によって決めておき、できるだけ同じ流れで授業を進めるようにする	4) ・黒板わきに学習の流れを書いて示す。その横に、マグネットなどを置き、今どこをやっているか分かるようにしていく。 5) ・学習ごとの「流れカード」を活用する